トヨタ自動車特集

重要度を増す東北・九州地区

トヨタグループの中でもトヨタ自動車九州（福岡県宮若市）の存在感は際だっている。2011年度の生産台数は約30万台と多くはないが、主力は高級車「レクサス」シリーズで、品質管理は愛知と同等を維持しているという自負がある。また苅田工場（同苅田町）ではエンジンを、小倉工場（北九州市小倉南区）ではハイブリッド車部品を生産するなど、国内第2の生産拠点としての地位を確立している。

北部九州、国内第2の地位確立

12年度は35万台の生産を見込む
（「レクサス」生産ライン）

福岡県と大分県から成る北部九州地域には、トヨタ九州やダイハツ九州（大分県中津市）など自動車メーカー4社が立地。11年度は過去最高の約130万台を生産した。中でもトヨタ九州はレクサスなど高品質の自動車生産に集中しており、「カーアイランド九州」と呼ばれる地域でもひときわ重要な存在といえる。生産品目は「ES」「RX」「IS」といったレクサスシリーズのほか、「SAI」「ハイランダー」といったトヨタブランドも生産している。

トヨタ自動車は九州をレクサスの輸出基地に位置付けている。豊田章男社長が「中部に次ぐ第2の拠点として頼もしい存在に育ってくれた」と話すように、グループの中でも重要な位置を占めている。

設立は91年。92年12月に「マークⅡ」の生産を始めたが、本格的に飛躍したのは累計生産100万台を達成した00年以降と言えよう。同年に年間生産台数が20万台を超え「九州にトヨタあり」が認識されるようになった。以後は順次生産台数を伸ばし、ピークの07年度には年間44万3000台を記録した。その後はリーマン・ショックなどの影響で台数を減らしたものの、12年度は35万台を見込むなど再び成長軌道に入っている。

生産台数の増加に伴って、地場企業との協力も欠かせなくなっている。7月から生産を始めた輸出専用車両「ES」の地場部品調達率は、金額ベースで63%。前モデルから9㌽も上昇した。レクサスの地場調達率が6割を超えたのは「RX」に次いで2車目だ。

トヨタ九州は今後も地場調達比率の向上に取り組む。今春には九州自動車・二輪車産業振興会議と福岡県中小企業振興センターが共同で、同社内で新技術・新工法展示会を開いた。九州・山口に拠点を持つ20社が独自の技術を披露して受注拡大につなげるのが狙い。当日は二橋岩雄トヨタ九州社長も視察、「モノづくりの基盤技術を手がける企業が目を引いた。地場調達率70%実現に向けて地域と一緒に成長したい」と話した。

同社は近い将来、九州で本格的に設計・開発を進める構想を持つ。既に「R&Dセンター」を発足させ、技術者を愛知県で教育している。「車づくりの基盤強化、地元、行政、販社との絆を大切に引き続き品質のレベルアップに取り組む」（二橋社長）という、トヨタ九州の挑戦から目が離せない。

トヨタ自動車東日本（宮城県大衡村）が7月1日に発足し、東北地方の自動車産業も新しいステージに突入した。ハイブリッド車「アクア」や小型車「カローラ」など人気小型車の商品企画・開発から製造販売まで一手に担う。生産台数は年間約50万台だが、2012年度は計画を上回る見込みだ。車体だけでなく、アクスルや制御ブレーキなど部品関連の生産も続々とスタート。関連する系列メーカーの集積も進む。地域のモノづくり企業、大学などとも力を合わせて「東北、日本の復興」に向けて歩み出した。

国内第3の拠点「東日本」

7月に開かれた発足式で、豊田章男トヨタ自動車社長は「東北の復興なくして日本の復興はない。車づくりを通じて東北、日本の新しい未来を作りたい。トヨタはその原動力になる」と力強く宣言した。

トヨタ自動車東日本は国内第3の拠点と位置づけられた。その役割は「東北を基盤に、世界一の魅力あるコンパクトカーをつくる」ことだ。コンパクトカーは世界的に最も競争が激しい分野。モノづくりの力と新しい技術を融合させることで競合他社との差別化を図る考えだ。

白根武史トヨタ自動車東日本社長㊧と豊田トヨタ自動車社長

発足から2カ月が過ぎ、トヨタ自動車東日本岩手工場（岩手県金ケ崎町）で全量生産するアクアの販売は絶好調。受注に対して生産が追いつかない状況が続く。トヨタ自動車東日本の幹部は「うれしい悲鳴とともに、一日も早くお客さまのもとに車を届けるよう頑張っている」と話す。

発足に先立つ5月にはトヨタ自動車東日本大衡工場（宮城県大衡村）にカローラを全面刷新するとともに生産を集約。コンパクトカーの商品企画、開発段階から新しい技術を導入し、単に値ごろ感のあるコンパクトカーとは一線を画す戦略を打ち出す。

部品関連の集積も進む。12月までにトヨタ自動車東日本大和工場（宮城県大和町）で、エンジン工場が本格稼働する予定。関連メーカーでも自動車タイヤホイールを生産する中央精機（愛知県安城市）、内装などに使う樹脂部品を生産するサンリット工業（山形県長井市）も相次いで近隣市町村に進出している。

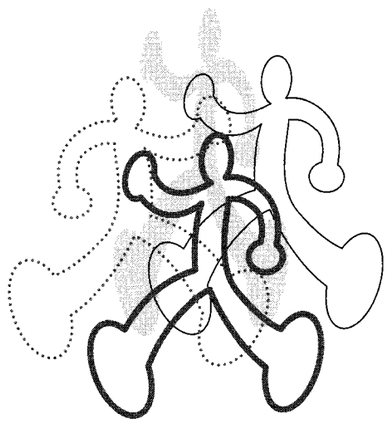
東北のモノづくり企業の底上げにも力を入れている。現在、4割ほどの現地調達率を8割にまで引き上げる計画で、「東北現調化センター」を立ち上げた。

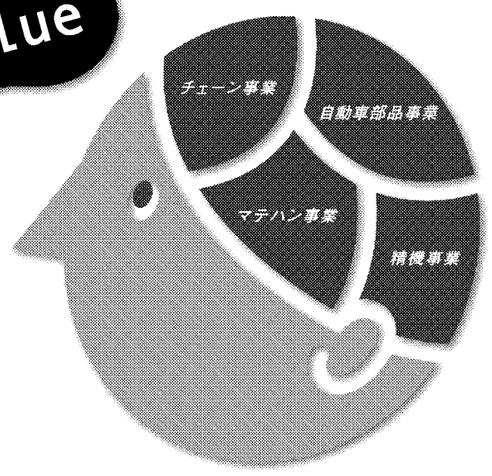
組織は担当の執行役員、部長のほか部品グループが16人、設備グループが3人。設計段階から地元企業と力を合わせて、競争力のある部品供給体制の構築を目指す。最大の特徴は「協力企業の提案が優れていれば、最初に設計した図面の変更もいとわない」（五月女薫トヨタ自動車東日本技監）ことだ。

また13年4月に開校予定のトヨタ東日本学園では地元工業高校を卒業した15人、地元企業から15人の合計30人を受け入れて、モノづくりの現場を担う人材育成を行う。現地・現物主義を徹底することで、製造現場のリーダーを育成する考えだ。

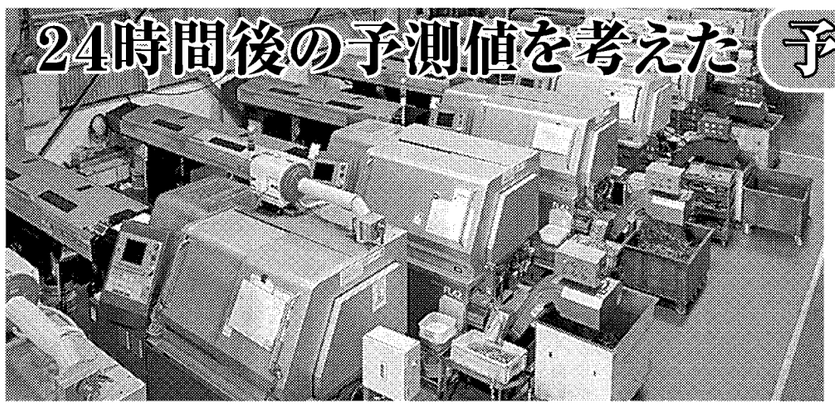
9月には東北大学などが中心となり、「次世代自動車のための産官学連携イノベーション―大学発の新製品、新システムの開発」プロジェクトが立ち上がった。東北大学が持つ高い研究成果の実用化のほか、最先端機器の地域企業への開放、実務に直結する実践的人材育成などが柱だ。

次世代自動車の開発とともに地場企業の競争力強化、さらには震災からの復興を目指す。東北の自動車産業は大きな第一歩を順調に踏み出している。

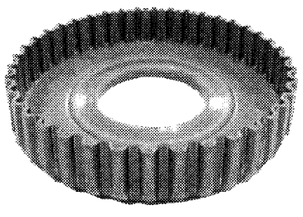
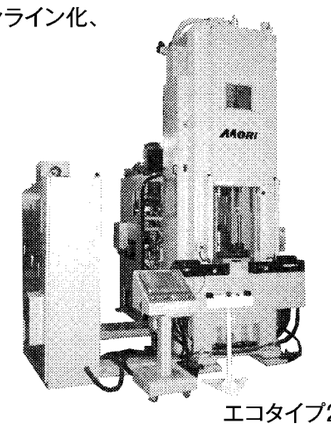
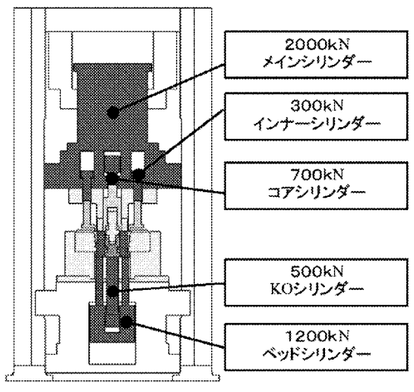
OKAYA & CO.,LTD.

グローバル最適調達パートナー
岡谷鋼機株式會社
本社／名古屋市中区栄2-4-18　〒460-8666
http://www.okaya.co.jp/

Innovation in Motion
TSUBAKI
Think best value


生産や物流分野だけでなく、社会環境の変化を先取りする
新領域で次々にベストバリューを生み出す〈つばき〉です。
※詳しくは www.tsubakimoto.jp で。
株式会社 椿本チエイン
本　社／大阪市北区中之島3−3−3（中之島三井ビルディング）
工　場／京田辺・埼玉・京都・兵庫

[16時間]のプロダクトタイムのために、
ノウハウのすべてを投入する[8時間]がある。
24時間後の予測値を考えた 予測管理技術


自動車安全装置部品
AOI 葵機工株式会社
〒760-0065　香川県高松市朝日町3丁目7番5号
TEL:(087)822−5025　FAX:(087)821−0075
http://www.aoikikou.co.jp　E-mail:aoi@aoikikou.co.jp

プレス加工革命へ値千金の一打!
ワンショットフォーミングプレス
日本塑性加工学会よりアイシン・エイ・ダブリュ（株）様と共同開発した
『インライン加工を実現する複動1ストロークプレス加工の実用化』で学会大賞受賞!
大型トランスファープレスの時代から、多軸油圧サーボプレスで縦順送の世界へ。
従来の成形工程の最大出力があれば、全成形が可能。設備の大幅な小型化を実現。
プレス設備幅寸法で、1/10　面積で、1/10〜1/20　重量比で、1/50〜1/100の小型化の実績。
金型も含めた設備の小型化によるインライン化、
ピットレスで、設備投資を大幅に低減。
1個流しのプル生産に最適です。

成形事例



エコタイプ2,000kN5軸プレス
10,000kN6軸プレス 及び
エコタイプ2,000kN5軸プレスを、加工法開発用に弊社常設。
ハイテク技術の液圧プレス
森鉄工株式会社
本社工場　〒849-1302
佐賀県鹿島市大字井手2078
TEL　0954-63-3141
http://www.moriiron.com
東京事務所 TEL 03-3438-0539
大阪事務所 TEL 06-6303-4872
海外営業所 ソウル・トロント・上海・バンコク

メカトロニクス技術商社
ダイドー株式会社
本　社／名古屋市中村区名駅南4-12-19
TEL 052-533-6710　FAX 052-533-6715
東京支店／東京都江戸川区西瑞江2-22-4
TEL 03-3676-9111　FAX 03-3676-9119
大阪支社／大阪市西区安治川1-2-8
TEL 06-6581-1161　FAX 06-6581-8008
www.daido-net.co.jp
〈名古屋本部〉豊橋・土岐・各務原
〈中部本部〉三河・静岡・浜松・金沢・諏訪・小牧・岐阜
〈東日本本部〉札幌・東北・郡山・北関東・新潟・上田・宇都宮・水戸・八王子・横浜・川越
〈西日本本部〉京都・滋賀・東大阪・岡山・福山・広島・四国・福岡・熊本